

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：中川博夫 副会長：唐澤千明 幹事：池上幸平



2015-2016 国際ロータリーのテーマ
世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

2015-2016 RI会長
K.R.“ラビ”ラビンドラン
スリランカ



第1347回 上伊那グループI.M. 平成28年3月13日(日)

国際ロータリー第2600地区 上伊那グループ 2015～2016年度 INTERCITY MEETING

日時 2016年3月13日(日)

点鐘 13:30

場所 JA上伊那フラワーパレス

I.M.リーダー：小林孝行ガバナー補佐

ホスト 伊那ロータリークラブ



会場風景



上伊那グループ 小林孝行ガバナー補佐



会員セミナー 伊那中央RC熊谷健会員



記念講演 日本東ティモール協会会長 北原巖男先生



アトラクション



懇親会

■ 会員セミナー テーマ「これからのロータリー」各クラブ代表者による意見発表

「ロータリークラブに入会して思ったこと」 伊那中央ロータリークラブ 熊谷 健

私が伊那中央ロータリークラブに入会したのは、平成26年の2月でした。入会した動機というものとは特になく、長年お誘い下さいました先輩の勧誘を断りきれなかったということで、「年貢の納め時」というような気持ちで入会致しました。一年目は、様子見というような気持ちで、出席率も悪く、どちらかと言うと、外からロータリーを観るといった気持ちで参加していました。しかし、2年目にSAAを仰せつかり、その役割もよく知らないまま引き受けた現在、幾らかロータリークラブの目的や意義も見えてきたかなと思っています。

ロータリーの目的は、まず「社会奉仕」であると伺っています。そして、これは副次的なものかも知れませんが、内には「会員相互の親睦」を図るということも目的の一つに挙げられるかと思えます。

伊那中央ロータリークラブでは、昨年7月に、「ロータリーと私」というテーマで会員満足度アンケートを行い、それを基に、2回の例会を費やしてワークショップ形式でテーブルディスカッションを行いました。詳細はここでは省きますが、アンケートの結果で興味深かったものを挙げますと、「当クラブの組織としての現状をどう思うか？」という質問に対し「半数の会員が『現状に満足』と回答しているのに対し、数名の会員が『前例主義である』（つまり、過去に縛られて独創的な活動ができていない、あるいは活動がマンネリ化しているということだろうと思いますが）そのような回答がありました。

また「当クラブの活動に対するあなたの参加状況」という問いに対して「例会と親睦活動へは大多数の会員が積極的に参加しているという回答に対し、その他の活動へは会員の過半数が義務的に参加している。」という回答。

さらに「あなたの家族はあなたがロータリーに参加していることをどう思っているか？」という問いに対しては、「ロータリーのことを良く知らない。」「お金がかかり過ぎると思っている。」などの回答が多数を占めました。

テーブルディスカッションで出された意見では、例えば「ロータリーに入会して良かったことは何ですか？」というテーマに対しては「異業種の人と知り合う機会ができた」とか「友人や知人を作ることができた」といった、出会いや親睦を深めることができた意見が圧倒的に多数という結果が出ました。

一方、「ロータリーで何をしたいですか？」というテーマに関しては、「地域貢献・社会奉仕」「ロータリーの活動をもっと社会に広める。」といった高尚な意見がある一方、「自分に任された委員会を全うする。」「会員の親睦を深める」「飲むことで社会奉仕をする。」「特にしたいことが浮かばない」といった曖昧な意見もありました。

また、クラブ入会の目的については、「お世話になっている方の勧めで入会したので入会時にはロータリーという名前しか知らなかった。」という奥ゆかしい意見もあれば「無理やり誘われた。」「飲まされて断り切れなくなった。」「会社から出向するよう強制された。」「先輩会員に騙された。」といった過激な意見もありました。しかし、残念ながら「ロータリーの理想に共感して自ら入会した」という意見は、0とは言いませんが非常に少数でありました。

例会の成果を検証すると、社会奉仕よりも会員の親睦の方が優先する。少なくとも多くの会員はそう思っているという結果が出ました。これは、伊那中央ロータリークラブに特有の現象なのか、他のクラブにも共通するものなのか、私には分かりません。しかし、多少の違いはあるものの、どこのクラブもこのような傾向にあるのではないかと思います。そして「これからのロータリー」を考える時、こういった多くの会員の声（これは表面的には余り出てこない声だと思いますが）を十分に配慮した活動を行って行く必要があると考えます。

つまり、地域貢献・社会奉仕という活動を重ねながら、その活動を通じ、メンバーの達成感と連帯感を醸成していくということが、これからのロータリークラブには、一層求められているのだと思います。一部の会員、またはその時の委員会が毎年、前例に従って事業をこなすのではなく、経験のないメンバーを巻き込んで新しい空気を入れ、達成感を共有するような事業展開が必要ではないでしょうか？

それともう一つ、新しいメンバーを勧誘するとき、ロータリーの魅力を、綺麗ごとではなく、その人に自信を持って伝えるキーワードが必要であると考えます。入会2年目の私は、残念ながらその言葉を持っていません。どこのクラブも、新入会員の開拓には苦勞をされていると聞きます。私は新年度、会員増強委員会の委員長を仰せつかっていますが、このままでは、騙したり、なだめすかしたり、無理やりお願いしたりするしか、勧誘の方法が浮かびません。「ロータリークラブに入会したくなるような」キーワードをお持ちの

方は、是非、お教えいただければと思います。

また、会員の増強に苦勞するという事は、ロータリークラブの活動が、地域社会に十分に浸透していないからではないでしょうか？地域社会に対する情報発信が充分でないと感じます。

最後に一つ、ロータリークラブの奉仕活動について感じたことを述べさせていただきます。国際ロータリーの活動の大きな柱に「ポリオの撲滅」がありますが、私にはどうもピンと来ませんでした。1985年に始まったポリオ撲滅活動は、この世界からポリオ感染者がなくなるまであと一歩と聞いています。30年に亘るその取り組みは素晴らしく敬意を表するものですが、最近の「ロータリーの友」の記事を見ますと、まるでロータリークラブが、ポリオ患者が0になる、その見届人であるが如く宣言しているように感じます。

今の時代、もっと他に、支援を求める人々がいるのにと感じてしまいます。少し、自分たちの活動を美化しすぎているようで、違和感を感じるのは私だけでしょうか？

色々まとまらない話になってしまいましたが、私が「ロータリークラブに入って思ったこと」について話をさせていただきました。このような機会を与えて頂きましたことに感謝致しまして、発表とさせていただきます。

ホストクラブ会長挨拶



伊那RC会長
小坂 健男

本日は望月ガバナー初め、上伊那グループの多くの会員の皆様に御出席を頂き心から御礼と歓迎を申し上げます。本日の内容に関しましては、望月ガバナーの「今 見直しに勇気を！」の行動指針のもと小林ガバナー補佐が「これからのロータリー」をテーマに掲げました。会員セミナーで各クラブ代表者による希望に満ちた発表を楽しんでいます。また、記念講演は伊那市のふるさと大使であります、元東ティモール大使の北原巖男様をお願いしました。ロータリー活動の参考になるお話を拝聴したいと思っております。今日の研修が実り多いものでありますとともに引き続き予定をしております懇親会で会員相互の親睦がさらに深まる事を御期待申し上げます。

I.M.プログラム

13:00 登録受付開始

司会 I.M.副実行委員長 荒木 謙彦

13:30 点鐘

上伊那グループガバナー補佐 小林 孝行

斉唱「君が代・奉仕の理想」

ソングリーダー 宮下 金俊

助役者への謝辞

上伊那グループガバナー補佐 小林 孝行

開会挨拶

I.M.実行委員長 松崎 敬彦

ホストクラブ会長挨拶

伊那RC会長 小坂 健男

ガバナー補佐挨拶

上伊那グループガバナー補佐 小林 孝行

特別出席者及び参加クラブ紹介

上伊那グループガバナー補佐 小林 孝行

ガバナー挨拶

RI第2600地区ガバナー 望月 宗敬

14:00 第1部 会員セミナー

司会 遠藤 和夫

テーマ「これからのロータリー」各クラブ代表者による意見発表

講師

RI第2600地区ガバナー 望月 宗敬

15:00 次期ガバナー補佐及びI.M.ホストクラブ紹介

上伊那グループガバナー補佐 小林 孝行

次期ガバナー補佐挨拶

五野RC 堀内 章雄

次期ホストクラブ会長挨拶

五野RC会長 福島 英雄

15:15 閉会のことば・点鐘

上伊那グループガバナー補佐 小林 孝行

<休 憩> <会場移動>

15:30 第2部 記念講演（一般公開）

司会 遠藤 和夫

演題「ボンディア! 東ティモール案内」

講師 (一般社団法人) 日本東ティモール協会会長 北原 巖男 先生

16:35 御礼の言葉

上伊那グループガバナー補佐 小林 孝行

<休 憩> <会場移動>

16:50 アトラクション

アトラクション紹介 I.M.副実行委員長 藤澤 洋二

フルーツ・ピアノ演奏

フルーツ 松浦 美恵子 様

ピアノ 林 智子 様

17:05 懇親会

司会 I.M.副委員長 小林 旬子

開宴の挨拶

上伊那グループガバナー補佐 小林 孝行

乾 杯

上伊那グループ副ガバナー補佐 藤澤 洋二

ロータリーソング「手に手つないで」

ソングリーダー 宮下 金俊

閉宴の挨拶

I.M.実行委員長 松崎 敬彦

第1部 会員セミナー

「これからのロータリー」各クラブ代表者による意見発表

朝ヶ根RC 高橋 幸孝 会員 伊那中央RC 熊谷 健 会員
 五野RC 赤羽 祥 会員 伊 那RC 藤澤 秀敬 会員
 箕輪RC 荻原 直己 会員

第2部 記念講演

「ボンディア! 東ティモール案内」

講師 北原 巖男 先生 (一般社団法人) 日本東ティモール協会会長

主な経歴

中央大学卒業後、当時の防衛庁に入り広報長、防衛施設庁長官などを歴任。退官後、駐東ティモール民主共和国特命全權大使を務め、現在、(一社)日本東ティモール協会会長として、東ティモールと日本の相互理解と友好親善の増進、文化交流、連絡、経済協力などの促進に寄与している。
 NPO法人 日本地雷処理を支援する会 (JMAS) 顧問
 NPO法人 日本地雷処理・復興支援センター (JDRAC) 顧問
 昭和22年生まれ (伊那市ふるさと大使 / 伊那市長選出馬)

特別出席者 (敬称略)

RI第2600地区ガバナー 望月 宗敬
 RI第2600地区直前ガバナー 中川 博司
 上伊那グループ直前ガバナー補佐 塩澤 崇
 上伊那グループ次期ガバナー補佐 堀内 章雄